

授業科目名	プレゼンテーションスキルズⅠ			担当教員	高瀬 文広	
開講年次	1年後期	セメスター	2		時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	選択	授業形態	演習		使用教室	
授業の目的	看護者 / 保健医療専門家として、医療の対象者や連携すべき専門家の理解を得られるよう、明晰さと好ましさを備えた説明・発表を行う基礎力を獲得する。					
到達目標	1. 主張や情報を、相手と目的に応じて日本語と資料を準備して発表することができる：具体的には、ある疑問に答えるための情報を収集して妥当性と関連性のあるものを選択する、情報を利用しつつ自分の見解をまとめる、受け手の理解を最大化するような発信の様態を考案する、発信する、という一連の活動を行うことができる。 2. 他者の発信に対し、有意味な反応をすることができる（批評を行うこと、批評を受け入れ、改善に結びつけることができる）。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、CPの「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「人間」の部分にあたり、DPに掲げられた自己教育力と問題解決力の修得を目指す。また本科目によって、自分で決定したテーマに対し、パワーポイントを使用したプレゼンテーションをきちんとまとめて発表できる力を修得することを望む。次に続くプレゼンテーションスキルズⅡで獲得する「理解と信頼を得られる発表・説明のあり方」の基礎的科目として位置づけられています。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		◎		○		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	プレゼンテーションの目的と方法、コミュニケーションのリニアモデルとその仕組みおよび進行予定の確定	講義 (AL)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟①の担当者は個人発表準備		90分	高瀬
			(復習) コミュニケーションのリニアモデルとその仕組みを説明できるようにする		30分	
2	ジョハリの窓と自己開示を使用した小プレゼンテーション①とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟②の担当者は個人発表準備；①担当者は内省と分析		90分	高瀬
			(復習) ジョハリの窓について、説明できるようにする		30分	
3	マクレランド理論とマズローの欲求階層理論と小プレゼンテーション②とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟③の担当者は個人発表準備；②担当者は内省と分析		90分	高瀬
			(復習) マクレランド理論とマズローの欲求階層理論について説明できるようにする		30分	
4	PDCAサイクルとほうれんそうを使用した小プレゼンテーション③とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟④の担当者は個人発表準備；③担当者は内省と分析		90分	高瀬
			(復習) PDCAサイクルとほうれんそうについて説明できるようにする		30分	
5	ブレインストーミングを使用した小プレゼンテーション④とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑤の担当者は個人発表準備；④担当者は内省と分析		90分	高瀬
			(復習) ブレインストーミングについて説明できるようにする		30分	
6	ディベートを使用した小プレゼンテーション⑤とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑥の担当者は個人発表準備；⑤担当者は内省と分析		90分	高瀬
			(復習) ディベートの理論を確認する		30分	

7	ディベートを使用した小プレゼンテーション⑥とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑦の担当者は個人発表準備；⑥担当者は内省と分析 (復習) ディベートの理論について説明できるようにする	90 分 30 分	高瀬
8	中間まとめ 良いプレゼンテーションの構成要素	演習 (AL)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑧の担当者は個人発表準備；⑦担当者は内省と分析 (復習) 良いプレゼンテーションを行うにはどうすれば良いかを説明できるようにする	90 分 30 分	高瀬
9	マインドマップを使用した小プレゼンテーション⑦とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑨の担当者は個人発表準備；⑧担当者は内省と分析 (復習) マインドマップとは何かを説明できるようにする	90 分 30 分	高瀬
10	マインドマップを使用した小プレゼンテーション⑧とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑩の担当者は個人発表準備；⑨担当者は内省と分析 (復習) マインドマップ作成方法を習得する	90 分 30 分	高瀬
11	文化人類学の問題を使用した小プレゼンテーション⑨とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑪の担当者は個人発表準備；⑩担当者は内省と分析 (復習) 文化人類学の問題を再確認する	90 分 30 分	高瀬
12	BAFABAFA を使用した小プレゼンテーション⑩とその批評	演習 (AL・発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑫の担当者は個人発表準備；⑪担当者は内省と分析 (復習) BAFABAFA について説明できるようにする	90 分 30 分	高瀬
13	グループ発表とループリックを使用した形成的評価（自己評価と他者評価）	演習 (発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑬の担当者は個人発表準備；⑫担当者は内省と分析 (復習) グループ発表とループリックを使用した形成的評価について確認する	90 分 30 分	高瀬
14	代表者発表会とループリックを使用した形成的評価（自己評価と他者評価）	演習 (発表)	(予習) 全員：最終発表のための資料渉猟⑭の担当者は個人発表準備；⑬担当者は内省と分析 (復習) グループ発表とループリックを使用した形成的評価について説明できるようにする	90 分 30 分	高瀬
15	フィードバック：本授業で学んだコミュニケーションに関する理論とその役割について確認し、今後に役立てるようにまとめ、フィードバックを行う。	演習 (発表)	(予習・復習) コミュニケーション理論を確認し、様々な場面で使用できるように確認する	各 90 分	高瀬
先行履修科目					
テキスト		必要に応じてプリントを配布する			
参考文献		高瀬文広その他：日本語コミュニケーション I，ぎょうせい，2003. 早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター：体験の言語化実践ガイドブック，成文堂，2018.			
評価方法		授業への参加度 30%、プレゼンテーションの完成度 40%、グループ発表への貢献度 30%			
メッセージ		本コースでは、感じることを、考えることを、他者にそれを話すことを、他者と話し合うことを、複合的な概念を組み立てることを、不特定多数の他者にわかるように話すことを、書かれたもの・話されたことを批評すること、他者から学ぶことを、学びます。			